

雨天決行！中部支部&関西支部合同「日帰り旅行」の報告

2026 年 6 月 28 日

実施日：2026 年 6 月 25 日（金） 天候：雨 気温：20℃～22℃

参加者：中部支部 金井・竹内・田中・森・大橋・倉知・樺山（7 名）

関西支部 加納・岩井・松村・小林・高・水野・横山・生嶋・吉田・国沢・崎谷・葛野

桂 福団治・今井秘書（14 名）敬称略

梅雨の晴れ間を期待しましたが、一日中雨の行程となりました。気温は高く、寒くはありませんでしたが、雨の中の移動は皆さん何かと疲れておりました。

10 時 35 分：関西支部 11 名と中部支部 7 名は、雨中の嵐電(京福電鉄嵐山線)嵐山駅に集合し、昨年の秋以来の再会と喜びを祝いました。

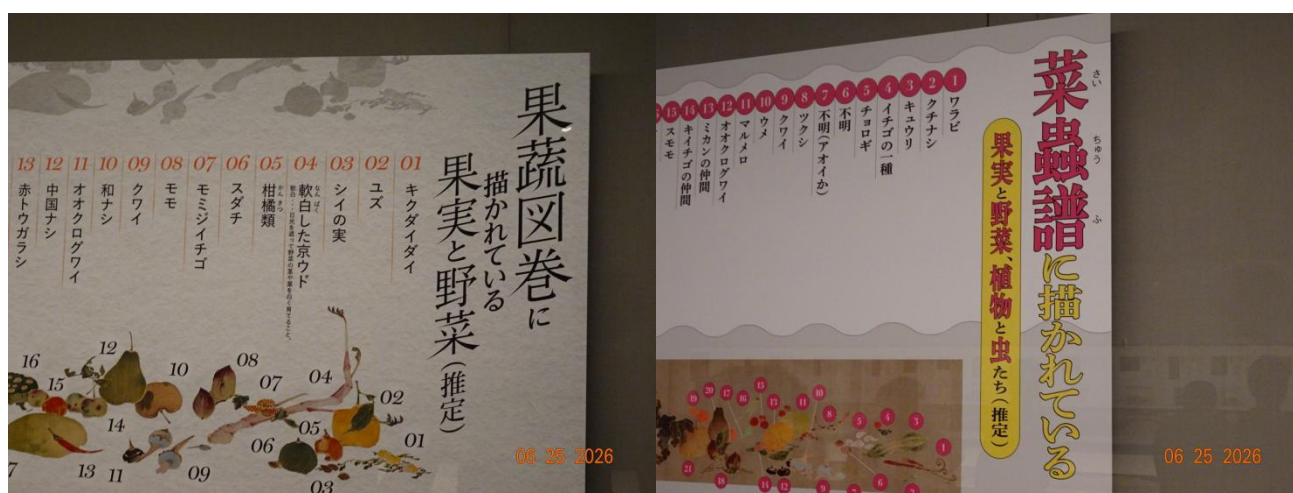


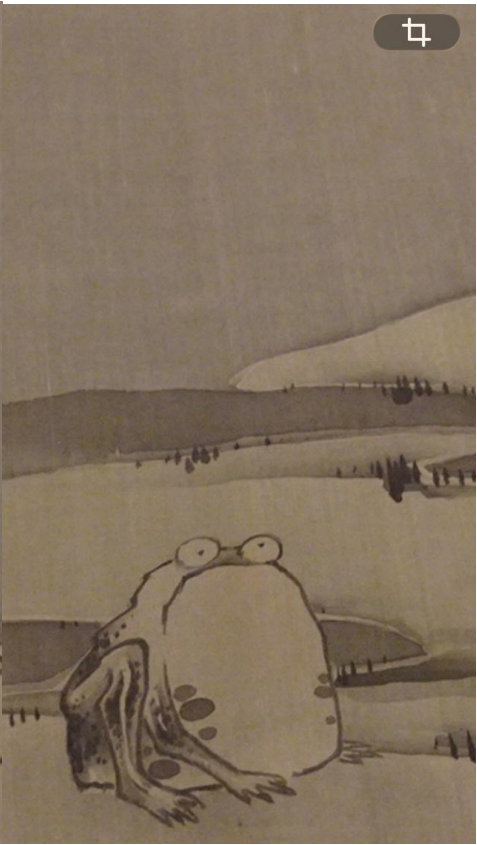
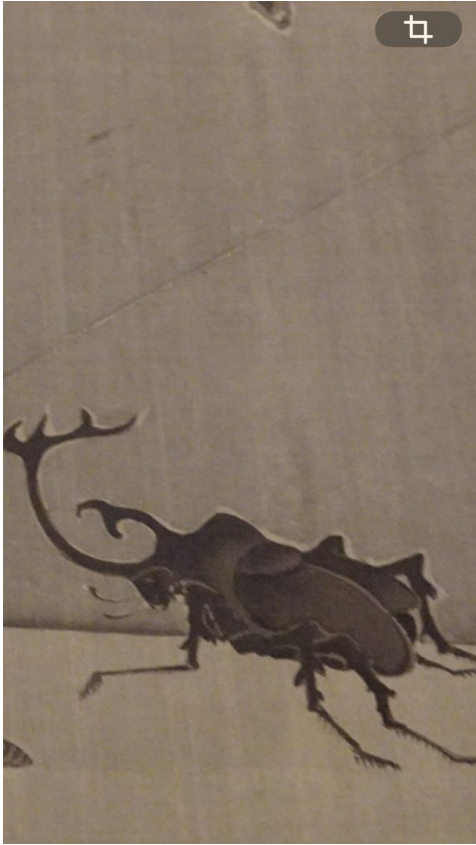
10 時 45 分：結構な雨の降る中で、徒歩約 10 分で福田美術館に到着しました。18 名になると団体扱いになるので、係員からの説明を受けました。その後、各自が分かれて伊藤若沖の作品に集中いたします。館内は 3 室にて、若沖の作品が 1 室と 2 室に分かれており、3 室は「若沖と同時代の画家たち」の作品が展示されていました。福田美術館の建物自体が素晴らしい芸術作品であり、若

沖の作品と同様にすばしかったです。また館内のカフェから見る、桂川と渡月橋の景色は、嵐山を代表した風景でした。



京都淀から大阪天満橋までの川旅巻絵図は地図を見る楽しみ、「果蔬図巻」や「菜蟲譜」と題された静物や生き物の微細な表現をした巻絵は、子供の頃に見る図鑑を楽しむ気持ちになりました。多くの有名な鶏の絵は、描く角度に独特の角度があり、見る者はその繊細さと色彩に圧倒されます。一時間半の見学は、展示場の暗さも相まって眼精疲労となりました。







12時20分：福田美術館から、再度嵐電嵐山駅前を横切り、光厳天皇髪塔を経て、JR嵯峨嵐山駅を通過して昼食処の「すし磯」に到着しました。この間は雨が多く、厳しい徒歩となる。ここで、水野支部長と「桂 福団治師匠」と今井秘書に合流し、美味しいにぎり寿司(中トロ／海老／鯛／イカ／いくら／玉子／穴子／鮭)・茶碗蒸し・お味噌汁と締めの鉄火巻をいただきました。勿論、ビールと日本酒も控えめにいただきました。昨今、外人客が多く値段が釣上がっている中、中々良心的なお店でした。この店を紹介してくれた出光興産の並河さんにも感謝です。



13時50分：一部会員は高さんの案内で、長慶天皇陵を見学し、他の会員はトロッコ嵯峨駅でしばし休憩する。SL展示室前で全員写真を撮る。シャッターは回りに日本人がいなく、外人観光客にお願いいたしました。



14時50分：トロッコ嵯峨駅から乗車すると、昭和レトロな客車は大変懐かしい雰囲気でした。皆さんこれから見る景色にウキウキしながらの乗車です。旧山陰本線を走るので、煉瓦作りのトンネルが多く、保津峡（桂川）に沿って走る列車は、新緑の山々と深緑の川水を見ながらの観光です。何回乗っても記憶に残るものとなりました。この間はあまり雨が降っていませんでした。

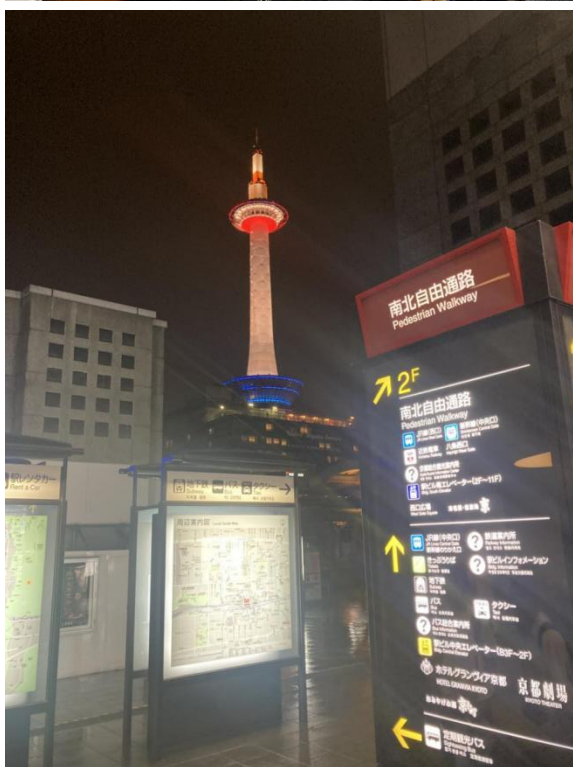


15 時 25 分：トロッコ亀岡駅に到着、馬堀駅を目指して歩くが、予定の 15 時 38 分には乗車出来ず。16 時 06 分京都行に乗車する。高齢者にとってトロッコ亀岡駅から馬堀駅へは、10 分の徒歩ではかなり厳しいです。この間、雨はパラパラ程度で助かりました。

16 時 30 分：京都駅到着。折返しの JR 嵯峨野線は通学者と観光客で満員になってました。

16 時 50 分：居酒屋「酔心」にて「桂 福団治師匠」の乾杯とペケペン落語の小噺にて懇親会を始める。今回の場所は掘こたつとなっており、皆さん良く歩いたせいか、あまり席の移動は少ない様でした。水野支部長の勧めで各人が一言、近況等を含めて話しをいただきました。その後、次回の秋の散策についても合同で実施しようとの提案が中部支部からありました。

18 時 50 分：「酔心」にて解散するが、一部会員は二次会に行きました。それも 21 時前には終了し、各自家路に着きました。参加の皆様、大変お疲れ様でした。



以上

文責／写真 葛野